

＜ I . 目指すべき将来像 ＞

- ◆ 「**世界一の都市・東京**」にふさわしい「**世界一の交通体系**」が将来像
～東京の活力・魅力・成長を支える利用者本位の都市交通システムを実現～
- A「**国際競争力**」、B「**安全・安心**」、C「**快適・便利**」、D「**豊かさ・環境**」の観点
- ※概ね20年後の交通インフラを想定し、それを利用して移動する姿を描く

II . 東京の交通の現状と課題

- ◆ 利用者の視点から、交通インフラや様々な人々の一連の移動に着目し、交通の現状と課題を整理

【主な交通インフラの整備状況】

- ・ **各交通手段では一定程度の水準**を達成
 - ＜鉄道＞ 高密度で正確、安全な鉄道ネットワークが構築
 - ＜道路＞ 都市計画道路、三環状道路等の整備率は約6割
 - ＜空港＞ 首都圏空港(羽田・成田)の容量は2020年代前半には満杯

＜取り巻く背景＞

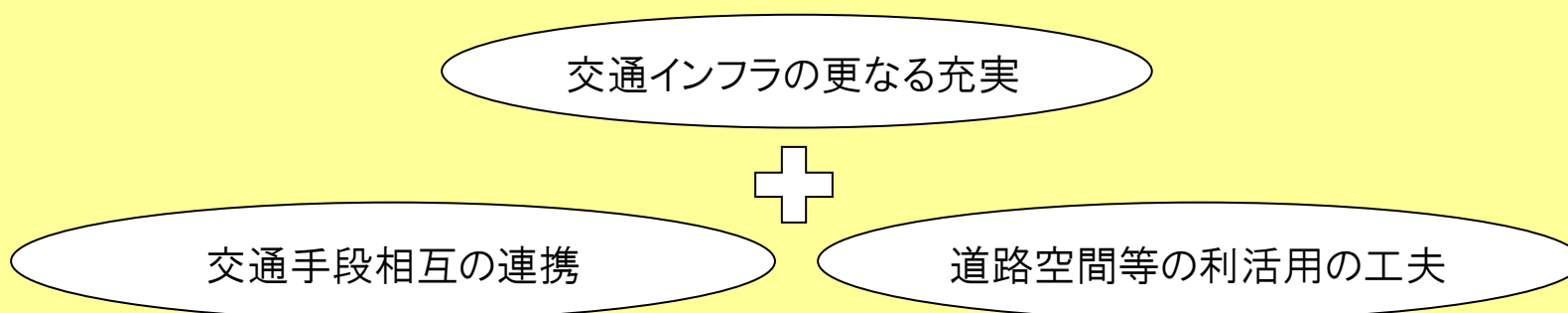
- ・ 都市間競争の激化
- ・ 人口動態
- ・ 環境
- ・ 防災
- ・ 技術革新
- ・ 都市構造の転換(五輪等)

【移動に着目した交通の現状】

- ・ **交通手段間の連携不足**(鉄道とバスの乗継不便など)
- ・ **道路空間等の利活用の工夫が必要**(自転車と歩行者の輻輳など)

【「総合的な」観点】

交通インフラの充実に加え、交通手段相互の連携、道路空間等の利活用の工夫により質の向上を図る観点から課題を抽出



III . 将来像の実現に向けた取組の方向性・施策例

- ◆ 様々な主体が、課題解決に向けて取り組む内容について、合意形成やマネジメントを図る仕組みを提案

- 「**交通結節機能の充実**」
 - ・ **まちづくりと連携した交通結節機能の充実**
- 「**成熟社会にふさわしい道路空間・水辺空間の活用**」
 - ・ **歩行者や自転車に配慮した道路空間の創出**
 - ・ **水辺空間の魅力向上に向けた舟運の活性化**

- ◆ 「交通インフラの充実」、「交通結節機能の充実」、「成熟社会にふさわしい道路空間・水辺空間の活用」に関する**具体的な施策例**を提示